

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	防犯灯管理事業	会計	一般会計	事業No.	660	施策順No.	43-003
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-5-12-5		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	危機管理・交通安全対策室		
施策	43 地域安全の推進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	設置済みの防犯灯						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		防犯灯数(H19.3.31)		5967	5967	6100	6200	
	意図	防犯灯の機能を維持する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	電球交換灯数(LED化により、交換灯数が少ないほどよい)	2900	2900	2000	1000	1000	800	A
	防犯灯新設設置数	18	17	4	10	20	10	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	各地区まちづくり委員会が積極的に管理運営に努めていただいた							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	通学路を中心に設置した防犯灯を維持・管理することにより、夜間安心して外出できるようにする。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 防犯灯の電気料金を市が負担する 2 各地区まちづくり委員会へ防犯灯の維持管理を委託する(委託料1灯1,000円) 3 防犯灯の移設、修繕、撤去、新設をまちづくり委員会へ委託	1 電気代 2 委託料 3 委託料	1 15,044千円 2 6,100千円 3 4,277千円
23年度実施計画	1 防犯灯の電気料金を市が負担する 2 各地区まちづくり委員会へ防犯灯の維持管理を委託する(委託料1灯1,000円) 3 防犯灯の移設、修繕、撤去、新設をまちづくり委員会へ委託 4 LED防犯灯の新設に対する1灯2万円の補助(防犯灯整備事業を統合)	1 電気代 2 委託料 3 委託料 4 補助件数	1 14,743千円 2 6,100千円 3 4,277千円 4 10件

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	25,421	23,411	25,391	
		計(A)	25,421	23,411	25,391	
		正規職員所要時間		150		
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		536		
		トータルコスト A+B		23,947		

4 事業に対する市民や議会の意見

地域自治組織の発足に伴い、防犯灯の維持管理等については、地域で行うべきとの意見が多数を占め、地域へ委託したものである。地元で行っている維持管理を含めて、現状の支援を継続されたい。(第5次基本構想・計画推進委員会)
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	犯罪の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	犯罪発生件数
				消費者被害件数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・地区まちづくり委員会に管理を委託し、地域防犯への意識付けと主体性の醸成に効果があった。		
	後期に向けた課題	・LED化事業を引き続き推進し、夜間においても安心、安全に外出できる地域環境を構築する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・環境保護、経費削減に向け、LED防犯灯の導入を図るとともに管理委託と管理負担減を推進し、防犯環境の整備につき地区自治組織に主体性を持たせている。		
	後期に向けた課題	・引き続き推進していく。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・LED防犯灯の導入による光熱費と取り換え作業の費用削減を図った。		
	後期に向けた課題	・引き続き推進するとともに、新設時の看板型LED導入を働き掛けていく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・受益者は市民であり負担程度も適切である。		
	後期に向けた課題	・現状のまま推進すべきである。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①防犯灯の維持管理の主体は市民及び各地区まちづくり委員会生活安全委員会で地区内の状況の把握に努めている。 ②市では管理委託料を支出している。		
	後期に向けた課題	・引き続き推進していく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・地区自治組織に施設の維持管理を委託しており、本件を通じて地域の犯罪被害軽減に主体性を持たせている。		
	後期に向けた課題	・LED化事業を引き続き推進するとともに、低コスト・環境保護に向けた施策を鋭意展開していく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--